



2月の予定

1 私立高校入試合格速報 月	16 中2 「学年のまとめ」 火 期末テスト対策開始
2 火	17 中3生 「高校準備講座」の 水 申し込み〆切
3 水	18 新中1の体験授業 木 中1 「学年のまとめ」
4 木	19 金
5 金	20 自由通塾日 5:00p.m.~9:00 土 中2 理社講座申し込み〆切
6 自由通塾日 5:00p.m.~9:00 土	21 日
7 日	22 月
8 月	23 小学生 「学年のまとめ」 火
9 火	24 水
10 都内私立高校一般入試 水	25 新中1の体験授業 木 5:00~6:40
11 木	26 金
12 金	27 自由通塾日 5:00p.m.~9:00 土
13 土	28 日
14 日	29 中3生 最終授業日 月 3:00~
15 中2 北辰公開テストの 月 申し込み〆切日	3月1日(月)からは塾の新学期 授業日時に注意しましょう



●公的テストの重要性が高まっています。
 埼玉県では、24年度から公立高校の入試結果が、中学校へ還元され、さいたま市では、約60中学の結果がまとめられ、各校に配布されています。
 そして、1月8日のさいたま市一斉テスト(公的テスト)と、この資料が連動され、各校の進路指導は大変強固なものになっていると予想されます。
 一方では、かたくなに学校を越えた集計を拒む地域もあったようです。
 昨年の27年7月に、県教育局主催で「公立高校入試要項の説明会」が全県の中学校長、進路指導主事を集めて実施されましたが、その席上、
 ①公的テストに偏差値の利用を認める
 ②入試結果の市町村を越えた集計を促す文書と中学校長会のQ and Aが配布されました。
 これを受け、さいたま市、本庄・児玉版、飯能・狭山・入間版公的テストなどでは、10月からの公的テストに偏差値の掲載を実施しています。他の地区では、今年度の28年度実施分から掲載するようです。
 また、個別相談でこれを参考にすると発表した私学は、全体の8割になっていました。
 民間の北辰公開テストの偏差値と合わせて、ダブルスタンダードの様相が見て取れます。
 公的テストでは母集団が少ないという声もありますが、地域偏差値ではなく、全県推計偏差値を掲載しているようですので、今後一気に根付いてくるのではないかと思います。(教育情報紙より抜粋)
 公的テスト結果が私立高校の個別相談でも利用されるということは、受験生にとってはプラスになりますが、今年度の西中の指導のように、2学期の通知表や調査書の成績を終業日まで知らされないという処置が今後も行われるとなると、これは対象受験生にはマイナス要因とならざるをえません。(他の中学では事前に知らされていることを考えると、少なくとも狭山市内で統一した見解のもと、平等な措置がなされてほしいと強く思います。)

●大学入学希望者評価テストについて
 現中1生が受験する平成32年度から、大学入試は、センター試験をやめて「大学入学希望者評価テスト(仮称)」となりますが、現中2生からは高校基礎学力テスト(仮称)が実施されます。
 それぞれのテスト結果は1点を競わせる得点ではなく、得点グループの形式となった段階評価となります。そのため単なる知識の習得ではなく、処理能力や表現力が問われるものとなります。また、これは、単に大学入試改革だけでなく、高校教育、大学教育の今後のあり方を考えていくものです。

二重発表

春休みは3月27日(日)~4月3日(金)までです。

「第4回学力試験」から

今年度最期の学力試験成績結果です。学年の総仕上げという内容で出題しましたが、実施は中3生は、受験対応のため昨年12月に実施。他の学年は1月、冬休み明けの翌週に実施しました。
 成績表を見れば分かりますが、中2の英語と国語の全学年で成績がふるっていません。
 また、表にはしていませんが、小学生の成績もよくありません。原因は家庭学習の少なさが第一ですが、英語では単純なミスが非常に多く見られました。例えば問題用紙に書かれている英単語のつづりを写し間違えていたり、直前に出題をしてきしていた問題を理解していなかったり…です。低位(赤い数字)の生徒は特に要注意です。3月は塾での進級月です。今の調子では通塾が無駄になっていることを自覚しましょう!

得点分布	英語			数学			国語		
	中3	中2	中1	中3	中2	中1	中3	中2	中1
100点									
99~95点			1	2	1	3			
94~90点	1		4	1	2	6			
89~85点	1	2	5	1		3	1		3
84~80点	3	2	1	6	1	3	1	2	2
79~70点	1	5	7	7	4	5	6	2	8
69~60点	9	6	2	3	11	4	12	10	6
59~50点	2	2	5	5	8		6	9	3
49~40点	8	2	5	5	3	2	3	4	3
39以下	4	2	2	2		1	3	3	2
塾内最高点	94	87	95	92	98	97	88	85	89
塾平均点	57	58	73	52	64	78	64	58	66

中3生の授業日について

2月の授業は進路確定クラスと受験クラスの編成で行います。詳しくはプリントを参照してください。

また、中3の塾での最終の授業日は

2月29日(金)です。

時間は 午後3時～

※3月は希望者を対象とした、「高校準備講座」を行います。

中1・中2生 北辰テスト受験のご案内

学年当初の父母会でご説明しました「北辰テスト」の受験案内をしますが、これは、埼玉県全体での学力位置を知る「学力のモノサシ」となっています。

現中2生は、今回は任意ですが、進級後中3生として4月16日の中3第1回の北辰テストは必ず受験してください。

●申し込みの期限 2月15日(月)

受験希望の人は、期日までに提出してください。

●テスト日 **3月6日(日)**

納入後の費用の返却はできませんので、ご了承ください。

新中1の体験授業について

予定表にもありますように、新中学1年生(現小6)を対象とした体験授業を、以下の日程で実施します。

お知り合いの方の中に、ご希望の方がいらっしゃいましたらご紹介していただけますようお願いいたします。

2月19日(木)・26日(木)

時間は 午後5時～6時40分

持ち物 筆記具と申込書

読書たより

(記 雅也)

少し大きな話題があるごとに、ちょっと前の大きな話題が忘れ去られていきます。今でいえば、狭山市内での幼児虐待(ぎゃくたい)、殺人してみたいと祖父母を殺した高校生のニュースは、SMAP 解散騒ぎ、バス事故にすっかり上書きされた感じですが、凄惨(せいさん。むごいこと)な話題がいつまでも続くよりいいのかもしれませんが、痛ましい問題を置き去りにしているように思ったりもします。一方、凄惨な世界を描き出す物語が、強烈な印象を残し続けることもあります。だからこそ、心が柔らかい年少の頃はそんな作品を読んではいけないのでしょうか、感性がしなやかでも強くなる高校生くらいになればふれてもいいと思います。そういった作品の中で、圧倒的な読後感があったのが**伊藤計劃**(けいかく。劇は画と同じ。1974-2014年)の小説です。一番は『虐殺器官』という作品なのですが、タイトル的にも紹介しづらいので、ここでは『**ハーモニー**』という遺作を。



ストーリーは「21世紀後半、『大災禍(さいか) "ザ・マイルストロム"』と呼ばれる世界的な混乱を経て、人類は大規模な福祉厚生社会を築きあげていた。医療分子の発達で病気がほぼ放逐(ほうちく。追い払う)され、見せかけの優しさや倫理が広まった『ユートピア』。そんな社会に飽きた3人の少女は餓死することを選択した…それから13年。死ねなかった少女・霧慧(きりえ)トアンは、世界を襲う大混乱の陰に、ただひとり死んだはずの少女の影を見る」というもの。日本 SF 大賞を受賞し、国際的にも評価された作品です。

【今月の野ち】

奥富の野良猫

(記 玉美)

入間川右岸、広瀬橋付近を起点に整備されていた遊歩道が、奥富の方まで伸びました。一部未完成ですが、ほぼそのまま、イオンの裏、運動公園入口に出られるようになっています。先日、そのコースを歩いてみました。歩くときはだいたいカメラを持って行きますが、1月の野に、目を引くような草木はもちろんあるはずがありません。

奥富の運動公園に着いて、あらあら、猫が何匹も。野良猫なのでしようけれど、結構上等そうな美しい猫たちです。人になれていて、誰にでも甘え声で寄っていきます。陽だまりを楽しんでいる人達が、それを撫でたりして可愛がっています。やせてみすぼらしいものが一匹もないのは、そんな人達が、食べ物も与えたりしているのでしょう。陽だまりと猫と、あたたかい風景でした。



クラスたより

(記 満理)

二月三日 といえば「節分」。「季節を分ける」ということで、本来はどの季節にもあるのですが、この冬と春の節目を「節分」とするようになりました。(ちなみに二月四日は「立春」ということになります。春といえどもまだまだ寒い時期ですが、暦の上ではもう春です。)節分といえば豆まき!が定番でしたが、近年では、関西が始まりと言われる恵方巻きもすっかり定着しましたね。(今年の恵方は南南東だそうです。)豆まきをするのは、季節の変わり目に入りやすい邪気をはらうため、他にもイワシやヒイラギを飾って邪気をはらったりもします。

私も小さな頃から豆まきをしていました。成長するにつれて、「鬼は一そと、福は一うち」というのがとんでもなく恥ずかしくなり、いつの間にかやらなくなってしまいました。豆がばらばらと壁や格子にあたる音や、その夜の静けさや、まき終わった後に土に落ちた豆たちは果たしてどうなるのだろうか、ふやけてふにゃふにゃになるのだろうか、鳥や動物が食べてくれるのだろうか、などと想像していたことを覚えています。まき終わると、こたつを囲んで四辺にそれぞれ座り、年の数だけ豆を食べ、同じく年の数の豆を紙に包み、壁にかざられている父の彫ったお面の裏に供え、翌年また一つ増えた豆を包んだものと交換するというのが習慣でした。大人になって今はまた、家の小さな神だなに同じように、そして今はあの時とはグンと数の増えてしまった豆を供えています。今年もまたその季節がやってきます。

塾長の独り言

◎今年の成人式は…

去年は狭山市の成人式が実際より一日早く行われることを見逃してしまい、当日は気づかず。大勢の卒塾生が来てくれたにもかかわらず、結局会えたのは4人だった。

今年はこの懲りて、事前に日程を確認し成人式当日を待った。そして…。これまでと全く異なって第一陣は男子6名がやって来た。男ばかりなので、成人式の華やかさはないが、ざっくばらんな話題で、また違った彩りがあった。とくに今年の抱負や将来の考えを一人ずつが述べてくれたことには感銘を受けるものだった。その後女の子が計3人。



◎新入塾生の募集が始まる

毎年1月20日から新入生の募集を受け付けている。今年は前年末から問い合わせがあり、20日の日に待機する。前年の問い合わせでは名前だけを聞いていたのだが、受付で初めて卒塾生の子弟であったことが判明。残念ながら私とは会えなかったが、息子から伝え聞いて、かつての日々を思い出す。20年もの昔であるが、名前とあの当時の姿が脳裏に浮かぶ。最初はボンヤリとしたイメージが次第にはっきりとし、当時の塾生達も連想できるようになると、いろいろのエピソードが浮かんでくる。懐かしいひとときであるが、その子弟が入塾をしてくれるとなると、また感慨深いものがある。

◎いよいよ私立高校入試が始まった

今年の私立入試は、単願希望がわずか5人。もちろん併願の希望者もいるのだが、なんとなく緊迫感が伝わってこない。事前の個人相談で「確約」という言葉が多かったためなのか?それとも受験という言葉にプレッシャーを感じていないのか?いずれにしても、C教室での自主学習に、ほぼ満席の状態になっているのだから、生徒個々は不安があるのだろうが…。まあ私立の結果が良ければ弾みがでることだろう。

ちなみに、現在(1月25日)合格の連絡が入っているのが、日大豊山(2名)、星野学園高校(2名)のみである。